



吉田芙希子 Fukiyo Yoshida
lovely lovely / 2017 / 撮影 大塚拓也



小笠原周 Shi Ogasawara
電子タバコと不織布マスク / 2024 / 撮影 守屋友樹
水中眼鏡とSURFボード / 2024 / 撮影 守屋友樹



向井詩織 Shiori Mukai
BLOCK MON YO / 2023



周逸喬 Zhou Yiqiao
牡丹 / 2023 / 撮影 寺町京極 / 商店街美術館



小宮太郎 Taro Koniya
閉じた窓 / 2024 / 撮影 藤崎幸



松元悠 Haruka Matsumoto
擦れ合って新しい面を作る
(ウルトロ遊園 / なかよしひろば) /
2023 / 撮影 三木仙太郎

本展のタイトルとなっている「メンガーのスポンジ」とは、数学者であるカール・メンガーが発案した、立方体に穴を空けたフラクタル図形の一種である。理論上は存在するものの、実際にそれを完璧に作図・製作することは不可能であり、概念上のみ存在するイメージとして知られている。その構造体に規則的に穴を空けることを無限に繰り返すと、体積は限りなくゼロに近づきつつも、表面積は無限に拡大するという現象が起こる。そんな不思議な文脈を持つ図形の名称を本展のタイトルとした理由は、「メンガーのスポンジ」のフラクタル次元が計算上2.7268330278と導き出される点にある。数式では「 $\log 20 / \log 3 = 2.7268\dots$ 」と表現されるが、とはいえいったん数学的な部分から距離を置き、この非整数自体からキュレーションの遂行を試みた。馴染みのないその実数とともに再び芸術作品を眺めてみると、漠然とした平面以上立体未満という領域およびその形式に新たな切り口を与えられるのではないかと。2.5次元という括りが完全に別の文化圏を表象するようになった昨今、パフォーマンスやインスタレーションといった一回限りの展示性とは対照的に、ある程度の自立性を内在しつつも、「2.0000000000次元(平面)」から0.7268330278次元程度に様々なベクトルで拡張を試みる6つの芸術的実践を紹介する。

堤拓也(本展キュレーター)

The Menger Sponge

2024.10.30(水)-11.18(月)

12:15-18:00 日曜休館(土曜17:00まで)

*芸大祭の11.3(日)のみ開館 11.16(土)臨時休館
入場無料

Opening Event

2024.10.30(水) 17:00-18:00

NUA ART SHOP

出品作家の作品やグッズを販売

Instagram



Art & Design
Center
@adc.nua



NUA
ART SHOP
@nua_art_shop

アクセス |
名古屋芸術大学 Art & Design Center West
〒481-8535
愛知県北名古屋市徳重西沼65
名鉄犬山線「徳重・名古屋芸術大駅」下車
西へ徒歩13分

